

日本家政学会中部支部若手の会

2023 年度第 2 回勉強会報告書

日時：2023 年 12 月 10 日（日） 10 時 15 分 ～ 13 時

場所：有松・鳴海絞会館（〒458-0924 愛知県名古屋市緑区有松 3008 番地）

TEL (052) 621-0111 <https://shibori-kaikan.com>

参加者：会員 5 名（敬称略）＋お子様 2 名

小田奈緒美（金城学院大学）、福田典子（信州大学）

福岡恩（名古屋学芸大学）、内田有紀（金城学院大学）

長谷博子（金城学院大学）

参加費：無料（5 名分）

活動内容

有松・鳴海絞会館にて、有松絞りの染色家である久野剛資氏から説明を受け、有松絞りの歴史と絞り体験の方法について学んだ。有松絞りは、400 年以上の歴史があり、1608 年に絞りの開祖である竹田庄九郎らによって誕生した。尾張藩が有松絞りを藩の特産品として保護した。昔の繁栄と美しい街並みは、名古屋市の町並み保存指定第 1 号として、全国町並み保存連盟の発祥の地として知られる。ヤマモト・カンサイ、ヨージ・ヤマモト、コシノ・ヒロコなどの世界的にも有名なファッションデザイナーがこの地を訪れ、自らの作品に絞りの技法を取り入れたことからデザイン的価値も高い。

雪花絞りの方法は、手拭いまたはハンカチを折りたたみ、枠に挟んでしっかりゴムで留めて、染料に漬ける。布を染料につけることで、布が水分を吸収し膨張することを利用し、色を分けて染色することも可能である。参加者らは、それぞれ異なるデザインに仕上がった作品を評価し合い、有松絞りの難しさを実感することができた。



